

阿部竜之介 『Pepeの視点』 - 感謝！

音楽の世界で今何が起きている??

阿部 竜之介 『Pepeの視点』

April / 14 / 2023 # 121

Trombone & Euphonium奏者の阿部竜之介(Pepe)です。

このメールマガジンでは、僕から見た今の音楽の世界で起きていること、また演奏に関するヒントなどをお届けしていきます。

またメルマガ内でもいろいろな質問に答えていこうと思っていますので、どんどん質問してきてくださいね！

INDEX

- [1] 旬な話題、気になる話題
『感謝！』
 - [2] Pepeのひとりごと
『Italian Brass Week』
 - [3] 演奏のヒント！
『脱力とは』
 - [4] 編集後記
-

- [1] 旬な話題、気になる話題

『感謝！』

先月、3月13日から20日までイギリスに行っていました。
去年11月にも行かせてもらったのですが、またBBC National Orchestra of Wales (通称NOW=ナウ=) に客演させていただきました。

前回のときは首席TromboneのDonalと一緒に演奏する機会はなかったの

ですが、今回はがっつり一緒に演奏だけでなく、飲んだり食べたりお茶をしたりすることができて、いろいろな話もできたし、隣で吹いて、本当にいろいろと勉強になることがありました。

今回は北ウェールズでのツアーだったので、カーディフの本拠地で2日ほどリハーサルをしてから、3日目から4日間のコンサート・ツアーでした。

移動はバスなのですが、素敵な景色の中を走り、小さな町で休憩をとったりもしたので、とってもいいイギリス旅行もできました。 :D
行ってからの天気予報ではツアーの間ずっと雨だったのですが、実際にはバスで移動をしているときには雨が降っていても、休憩のときやホールに着いたときなどはほとんど雨はやんでいて、とってもラッキーでした～！

ちょうどドラマ「リバーサル・オーケストラ」の最終回をそのツアー中に観たのですが、なんと、そのツアーのプログラムのメインはチャイコフスキーの交響曲第5番！

いやあ、リバーサル・オーケストラの最終回を観た翌日にBBCのオーケストラでチャイコフスキーの交響曲第5番を実際に演奏したのは、きっと僕だけでしょうねえ。 ;)

イギリスの一流のオーケストラでの演奏経験ができるだけでもとてもありがたいことなのですが、今回はツアーだったので、いろいろな楽器のメンバーと会って話す機会も多くて、とってもいい時間を過ごすことができました。

なかなかこういう経験はできないと思います。
こういう経験をさせてくれたBBC NOWのみなさんと家族には本当に感謝です。

これからも、このときの経験を生かして、ますます成長していきたいと思っています！！

[2] Pepeのひとりごと

『Italian Brass Week』

3月のイギリスに行く前、いつものように家でコツコツ練習をしていると、とあるところからメッセージをもらい、なんと、今年の7月末にイタリアのフィレンツェで開催される「Italian Brass Week」にEuphoniumの講師として参加できることになりました～！！

もうひとりのEuphoniumの講師は、なんとDavid Childs！！
話が来たとき、すぐにスケジュールを確認して返信をしましたよ～（笑）。
Davidの演奏はすごく好きなので、一緒にイタリアで活動ができるのが本当に
嬉しいし楽しみです！！

いやぁ、コツコツと頑張っているといいこともあるんだなぁ、と実感
できました。 :D

Italian Brass Weekについてはこちらをどうぞ！
<https://www.italianbrass.com/en/italian-brass-week/euphonium-campus.php#docenti0>

興味のある方、このイベントは金管楽器全てと打楽器のためのイベントです。
今回は僕も行くので、現地で言語に困ることがあった場合、何かしらの
サポートをすることができるとは思います。
この機会にぜひ、イタリアでしっかり楽器を勉強しませんか？？
興味のある人は、ぜひ一緒にイタリアに行きましょう～！！ :D ;)

*オマケ話。

イギリスから日本に帰る前の日、SNSで見るとDavidがイギリスにいるような
感じだったので（彼は今アメリカの大学で先生をしているので、アメリカに
住んでいます）、彼にメッセージをしていました。
朝にメッセージをして返信が来たのは夜だったのですが、なんと！！僕が
日本に帰る飛行機に乗る日に、Davidもアメリカに帰る飛行機に乗る
ということで、空港まで行く電車の中で落ち合うことにしました。

僕は予定よりもかなり早くに空港に行くことにしたのですが、イタリアで
会う前に少しその話もできたらなぁ、と思っていたので、これも本当に
ラッキーでした。
電車の車内で落ち合って、そのまま隣りに座ってロンドンまで移動して、
ロンドンに着いてからそのまますぐに空港へ移動。

電車の中では、彼が今吹いているBESSONのプロトタイプ（試作品）の
楽器を見せてもらって、なんと、ヒースロー空港に着いてから、空港の
ターミナルの前で（屋外）その楽器を吹かせてもらいました。

とても反応がよくて、これまでのBESSONの感覚とは違う感じでした。
来年にはしっかりと完成をして、商品として発売されると思います。
たくさんの人に試してもらいたい楽器ですねえ（僕の吹いているADAMSの
Euphoniumもぜひたくさんの人に試してもらいたいなぁ）。

ロンドンで楽器を吹いたことはなかったのですが、まさかの自分のロンドン・デビューは、ヒースロー空港のターミナルの前で旅行客が歩いているところで、となりました。

観客はDavid Childs。

なんと豪華な（笑）。

イタリア、興味のある人でなにか気になることがある人は、気兼ねなく僕に聞いてきてくださいね～！

たくさんの方の参加をお待ちしています！！；)

[3] 演奏のヒント！

『脱力とは』

今月は、いろいろなところでキーワードとなりうる「脱力」について書いてみます。

みなさんは、脱力と聞くとどのようなことを考えますか？

誰でもまずは「力を抜く」ことを考えると思います。

楽器を演奏する上で考える「脱力」で、この「力を抜く」ことを中心に脱力のことを考えるのはちょっと違うのでは、と僕は考えています。

僕は、脱力とは「必要ないところに力を入れない（入れすぎない）」ことだと考えています。

身体中の力を抜く、という意味では決してないと思います。

そのところがずれていると、きっと脱力に関しては全くうまくいかないでしょう。

きっと「脱力」という言葉を使うことがそもそも危険をはらんでいるのでは、と思うのですが、そんなことを言っても何も変わりません（笑）。

「脱力＝力を抜く」という考えではなく、「必要ないところに力を入れない」、言い換えると「必要などころにだけ力を入れる」という捉え方をしてみましょう。

そのヒントは、なんでもない日常の演奏状態にあると思います。

普段から（調子のいいときは特に）どのくらいの力を使っているのかをチェックしておくクセをつけるといいと思いますよ。

「正しい吹き方」というものは、きっと自分の中にあるものだと思います。
他の人の正しい吹き方が、必ず自分にも合うとは限りません。

普段のいい状態（悪くない状態）をしっかりと観察をしておいてください。
そして、どのくらいの力を使っているのかをしっかりとリサーチして
おきましょう。調子が悪くなってから何かをやり始めても、遅いと思います

調子のいいときほどしっかりと自分のデータ採集をしておきましょうね。;)

編集後記

先月のイギリスでの1週間は、本当に幸せな時間でした～。:D
素晴らしいオーケストラの中で演奏できる喜びももちろんありましたが、
メンバーも素敵な人がたくさんいて、朝も昼も夜も、本当に楽しい時間を
過ごすことができました。

また行きたいなあ、とは思っていますが、そういう経験ができたこと
だけでも大収穫ですよええ。
ありがたい！

これからも、自分のことを信じて、コツコツと前を向いて進んでいこう
と思います！

最後にお知らせです！

6月28日（水）の夜、尼崎のピッコロ・シアターの小ホールでEuphonium
でのコンサートができることになりました！！:D

先日動画生配信でお世話になった「えばたんち」夫妻の協力によって、
コンサートができるようになったのですが、えばたんち+ゲスト（僕）
という形のコンサートになりそうです。

なかなかEuphoniumでのコンサートはないので、この機会にぜひ聴きに
来てくださいね！！
損はさせません！;)
よろしくお願いします！

<http://www.pepeabe.com>
ご意見、感想、質問などはメールでどうぞ！
info@pepeabe.com

©阿部竜之介 『Pepeの視点』
のバックナンバー、配信停止はこちら
<http://www.mag2.com/m/0001601194.html>